

# 平成31年市議会3月定例会 市長施政方針説明(要旨)

企画政策課

2月22日から開かれている市議会3月定例会の初日に行われた渡部尚市長の施政方針説明の要旨です。全文は市ホームページの「市長のページ」から、動画は「議会中継」でご覧ください。

なお、この施政方針説明については、東村山市第4次総合計画平成30年度実施計画の分野別計画の基本目標ごとに掲載しています。



施政方針説明を行う渡部市長

## はじめに

東京2020オリンピック競技大会事前キャンプに関する覚書

中国のホストタウンである当市は、事前キャンプの受け入れについて中国大使館を通じて協議を重ね、去る1月17日、中華人民共和国北京市にて国家体育総局と事前キャンプに関する覚書を取り交わしました。

今後、具体的な協議を進め、市民の皆さんにとってもプラスになるような取り組みを行いたいと考えています。また、事前キャンプにより中国での当市の知名度、認知度が高まることは中国からのイ

ンバウンド拡大を図るチャンスであることから、今後は事前キャンプの準備と合わせてインバウンド拡大策について検討を深めていきます。

**第5次総合計画等の策定、第5次行財政改革大綱に向けた取り組み**

第5次総合計画は、これから人口推計をはじめとする将来予測やさまざまな基礎調査分析を基に庁内外で本格的な検討に移りますが、東村山の未来を拓くため、市民と情報を共有しながら同じ方向を指して計画策定を進めます。

また、現在、第4次実行プログラムのローリングを行っている第4次行財政改革大綱は総合計画と対をなすもので、締めくくりのプログラムを検討・推進するなかで第5次大綱に向けてのさまざまな課題等を抽出しながら策定を進めます。

## 働き方改革の取り組みと関連予算

AI/ＲPAツールを活用した早期事業化により、今後の横展開につなげる取り組みとして課税課業務の自動化に着手することとし、関連予算を31年度当初予算案に計上しました。実施計画事業においても、公立小学校の教員の働き方改革として新たに成績処理支援システムを導入する予定です。

働き方改革による効果的かつ効率的な行政運営を目指す取り組みは、これまでの業務や手続きを改めて見直すよいチャンスと捉え、今後も全庁を挙げて推進していきます。

住民情報システムの共同利用による自治体クラウド導入に向けた取り組み

昨年12月6日に協定を締結した小平市・東村山市・東久留米市の3市の住民情報システムの共同利用による自治体クラウドは、現在、対象業務ごとに現行システムの分析を行っているところです。

従来の市の枠組みを超えた大きなプロジェクトとなるので、3市で連携しながら導入に向けた取り組みを進めます。

## 31年度の組織・定数

31年度の組織体制は市政をより着実に推進するため必要な見直しを行います。

地域創生部にて来年に迫った東京2020オリンピックパラリンピック競技大会に向けた体制の拡充を図るため単独の次長を配置し、東京2020オリンピック・パラリンピック推進課を創設します。

また、資源循環部にてごみ処理施設整備計画の検討の本格化を見据え、次長の廃棄物総務課長兼務を解除し次長と課長をそれぞれ単独で配置します。経営政策部行政経営課やまちづくり部用地課にて係体制の見直し、市民部収納課や子ども家庭部児童課、資源循環部廃棄物総務課に担当主査を配置します。

31年度の組織体制は、11部58課2主幹148係体制とし、職員数790名とする予定です。

## 基本目標1「みんなで支え助け合おう、健やかにいきいきと暮らせるまち」

公立保育所の民間移管  
市立第二保育園および第六

保育園については現在、4月1日の移管に向けて事務調整を行っているため、移管後の新園の建築工事も順調に進んでいます。

移管まで1か月余りとなりませんが、これまで合同保育を通じた保育内容の引き継ぎや保護者・事業者・市の三者協議等を行っており、引き続き必要な取り組みを丁寧・着実に進めます。

## 保育所等の入所申請状況を踏まえた保育環境の整備

31年度保育所等入所申請において例年になく多くの方々から申し込みがあり、0、1歳児を中心の前年度を大幅に上回る申請数となった状況を受け、可及的速やかな保育環境の整備について検討を進めています。

この間、当市に登録している保育施設整備等希望事業者に対し現状の事業計画や31年度に向けた施設整備の可否等について確認したところ、株式会社コティから野口町で小規模保育事業を行う旨の具体的な事業計画の提案をいただきました。

同事業者は、施設整備に係る市補助金を活用しない形での整備を想定しており、今後は地域型保育事業の認可権者として審査を行うなど、適切な認可事務を執行していきます。また、状況に応じた保育環境の整備を適切に講じていく観点を踏まえ、整備を進めていきたいと考えています。

**認定こども園施設整備支援事業**  
同事業者は、しらかぎ幼稚園が32年4月1日より幼稚園型認定こども園へ移行することに伴う園舎の改築整備への支援を行うもので、国・都の補助金を活用したうえで30・31

年度の2か年にわたり実施します。

施設整備により、安心安全な園舎での幼児教育の確保と保育所機能を有することによる保育のノウハウの蓄積により、幼児教育のさらなる充実が図られ、併せて2号児および3号児の受け入れ枠の創設により、待機児童の解消にも一定の効果が見込まれます。

## 学校施設への児童クラブの整備

緊急の課題であった施設整備について、31年度に回田小学校、大岱小学校、秋津小学校、北山小学校の4校で児童クラブの開設に向け必要な工事を行い、32年4月開設の準備を進めます。

また、児童館・児童クラブの今後の運営体制の検討を進め、31年度には外部のかたの客観的な意見を伺う機会を設け、今後の児童館・児童クラブ運営の基本的な考え方を取りまとめます。

## 健康福祉分野における就労支援・健康増進への取り組み

高齢化の進展や生活環境の多様化を背景とした高齢者等への就労支援や健康増進へのニーズに応えるため、31年度には社会福祉センターの事業拡大および東村山駅西口公益施設(サンバルネ)の指定管理者の指定を進めます。

社会福祉センターについては1月に指定管理者候補者選定委員会を立ち上げ、2月から指定管理者の公募を開始しました。12月からの事業再開を目指し、候補者の選定および事業準備を進めます。

サンバルネについては10月から5年間の指定管理者の指定を行います。健康増進施設については開設から10年を迎え、施設や機器の老朽化が進んでいることから、市民のさ

らなる健康寿命の延伸のため、適切に対応していきます。

**多文化共生事業**  
外国人市民が年々増加するなか、29年度に策定した東村山市第2次多文化共生推進プランに基づき、誰もが地域社会のパートナーとしてお互いに支え合い、参加、活躍できる多文化共生のまちづくりの施策を進めています。

多文化共生社会の実現に当たり直面する言語の問題に対応するため「やさしい日本語、わかる日本語」の対応が必要であることから、まずは全庁的に取り組み、理解を広めていきます。

また、外国につながる子どもたちが日本での学校生活や進学の際に困らないように「子ども日本語教室」において日本語の習得を支援し、日本語指導者の育成に努めます。

## 基本目標2「みんなが楽しく学び、豊かな心を育むまち」

### 小・中学校の施設整備

30年6月の大阪北部地震に伴うブロック塀改修工事については、実施設計で構造計算等の詳細設計を進めるなかで、より安全性を高めるため改修規模を拡大することとなりました。八坂小学校・東村山第四中学校については工期も4〜6か月程度要することから、プール期間終了後に工事を実施するため必要な手続きを進めます。その他の学校(13校)については事業を繰り越して31年度に実施します。

体育館の空調設備設置工事については、30年度、都の補助金で補助制度が創設され、31年度以降も継続される予定です。市としては体育館への空調設備の導入に関して、まず中学校各校の体育館の立地条件や建物構造等を踏まえた

空調効果や最適な設置方法を調査し、検討していきます。

また、先般、久米川小学校で児童が窓を開閉する際に窓サッシが落下するという事故が発生したことから、市として非常に深刻な事態と受け止め緊急に安全確認が必要であると判断し、現在、市立全小中学校の窓サッシの調査を実施しています。不具合のある窓サッシが判明した際には適切に対応し、子どもたちの安全確保に努めます。

## 自閉症・情緒障害特別支援学級の開設に向けた準備

東村山市特別支援教育推進計画第四次実施計画に基づき開設に向けた検討を進め、既に開設している3市の特別支援学級を視察し、学習環境や指導内容等を確認するとともに、開設予定校について検討を進めました。その結果、使用可能な教室の状況、通学上の課題等を考慮したなかで、萩山小学校を開設予定校と決定しました。

今後は33年4月の開設に向け、31年度には準備委員会の設置および施設整備工事のための実施設計を行い、32年度には施設整備工事および入級相談を実施します。併せて中学校への開設に向けた検討も進め、多様な教育環境の整備に向けて取り組みます。

## 中央図書館屋上防水等改修工事

施設の老朽化により雨漏り等の不具合が生じ、その都度対応してきましたが、抜本的な老朽化対策を図るため屋上防水や外壁等の改修を実施します。これにより施設のさらなる延命化が図れるとともに、より安心して利用できる安全な施設に改善していきます。

続きは5面